

令和8年2月27日

足立区立関原小学校
校長 吉丸 清昭 様

足立区立関原小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 川下 勝利

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

前年度の取組や成果、課題を分析し、今年度は以下の3項目を重点的な取組事項として設定し学校運営が行われた。関原小学校開かれた学校づくり協議会は、学校から提示された自己評価書や授業参観時の状況、協議会委員による意見交換等に基づき、取組の成果と課題について評価を行った。

重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

令和7年度は大仙市派遣教員を中心として、足立スタンダード虎の巻に則った授業展開を行うことを通して教師の授業力を高め、基礎学力の定着を図ってきた。区学力調査、通過率を国語・算数共に84%以上を目指して取り組んできた。4月の学力調査では学校全体の通過率は2教科平均91.9%、国語91.1%、算数92.6%であった。学年別の通過率でも目標の84%を下回る学年はなかった。また正答率も国語80.2%（昨年度より+2.6）、算数82.9%（昨年度より+2.8）と上昇した。データ分析を基にした個別学習の充実と校内OJTを活用した足立スタンダード虎の巻の勉強会等の継続が効果を発揮していると考えられる。

朝のパワーアップタイムでは、漢字・計算練習、AIドリル（Qubena）を活用した取組を行った。朝のパワーアップタイム（QubenaDay）の時間だけでなく、授業の補充問題や自習時間にも進んで学習する児童が増えた。1年生ではMIMを活用し、特殊音節の習得と読みの流暢さを目指して指導を繰り返してきた。さらに、放課後補習などで基礎学力定着に課題のある児童を個別に指導してきた。

令和4年度より現校長が推進してきた学力向上の取組は、確実に結果を出している。来年度も取組を継続し、関原小学校の基礎学力の定着を図っていただきたい。

重点的な取組事項－2 豊かな心の育成

令和7年度も児童の豊かな人間性を育成することを目標に取り組んできた。「1秒の言葉の励行」や自己肯定感の高揚、集団帰属意識の向上やいじめ防止、不登校への早期対応、交流活動（異学年の関わり）、挨拶の励行の取組を行ってきた。また、自他共に認め合える児童をめざして「自分で考え、自分で判断し、自分で行動できる児童」の育成を進めてきた。

学校生活に関する児童アンケートでは、「1秒の言葉を大切にしているのか」という設問に対して、肯定的な回答をする児童が94.3%、「自分で考え、自分で判断し、自分で行動することができているか」という設問に対しては90.5%の児童が肯定的な回答をしている。

また、年3回の服務事故防止研修を適切に実施し、体罰調査及び面談を実施した。教員の

看護当番による挨拶指導、担当学年児童による挨拶運動も継続されている。さらに、特別支援学級の児童と通常学級の児童との関わりでも、交流給食を実施するだけでなく運動会や学芸会、校外学習（生活科見学や社会科見学、芸術鑑賞教室）でも一緒に活動し温かい言葉掛けや交流がされている。引き続き、互いに尊重し助け合える児童の育成をしていってほしい。

重点的な取組事項－3 体力向上

令和7年度は、自らの健康と体力の向上を目指す児童を育成するために、体を動かしたり運動したりする機会や自ら目標をもって行事を行うことや家庭との連携を充実させることを計画した。健康な体力づくりを進めるために、次の3つの取組を行ってきた。

まず、体力向上委員会で都の体力調査を分析し、課題の特定を行い指導の重点化を図った。体育の授業の始めには体幹や筋力を鍛えるトレーニングや柔軟性を高めるトレーニングに取り組み、筋力や柔軟性を育成してきた。また、自己目標を設定して、持久走や縄跳び練習に取り組みたり、パラスポーツ体験出前授業を実施したりするなど運動への意欲向上につなげた。さらに、夏休みの地域ラジオ体操に教員が参加するとともに月1回全校朝礼にてラジオ体操への取組も実践した。生活指導部会では、生活リズムカードの取り組みを年2回、長期休業明けに行った。保護者の協力を得て、規則正しい生活について考え、実行した。

また、養護教諭による保健指導と栄養士による食育指導を年間計画に基づき実施してきた。今年度は株式会社ヤクルトより講師を招き、養護教諭を中心として学校保健員会の開催し、家庭と連携して児童の体力向上の啓発に取組を行った。

これらの取組により、体を動かすことへの興味や関心が高まりつつある。今後も、年間計画に軽重を付けて取り組むなど意図的・計画的に指導していくことを期待する。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

3つの重点的な取組事項から出された課題について、それらを解決するために全面的に協力することを惜しまない。協議会として学校行事等への積極的な参加を継続して行っていく、保護者や児童、教職員と意見交換ができる機会も増やしていければと考える。今後も、学校との連携を一層強化し、児童の健全育成のために協力していく。さらに、保護者や地域への期待に応え、信頼される学校づくりに協力していきたい。

3 その他

学校関係者評価の結果は、全ての項目において肯定的な回答が多くなっている。特に、行事の充実、地域行事への協力、教師が児童のよき手本となっているかについては、100%の高い肯定的評価であった。

衆議院選挙の影響によって土曜チャレンジ教室が中止となってしまったことは残念だが、関原小学校開かれた学校づくり協議会は、町会を要とした地域、PTA役員をはじめとした保護者ととともに、学校の教育活動・学校行事に協力してきた。

来年度も保護者や地域・開かれた学校づくり協議会と連携し、児童の健全な育成を目指し知・徳・体のバランスの良い教育を行っていただきたい。